

## 2022 年度 第 1 回 C 協議会 会議録 (案)

1. 日時：2022 年 6 月 17 日 (木) 10:00～11:30

2. 場所：福德技研ビル 3 階会議室

3. 配布資料

- ・2021 年度 第 2 回 C 協議会 会議議事録 (案)
- ・2022 年度 第 4 回総会 C 協議会資料

4. 議事内容

(1) 温度ひび割れの抑制対策の検討

① 福井県のフライアッシュコンクリートの適用状況

- ・福井県ではモデル事業として実施中。
- ・100m<sup>3</sup>以上、プラントから半径 15km 以内の場合、福井県が適用を決める。
- ・標準仕様は BB で管理材齢 28 日。FA は発熱量が少ないが、BB に合わせて管理材齢は 28 日としている。
- ・FA を混和材として使用、フライアッシュセメント B 種で使用のいずれでも良い。
- ・コストは BB と同程度としているが、実態は異なるようである。(広島では、投入料や FA 用混和剤などで、300 円程度/m<sup>3</sup>アップ)

② 高知県のフライアッシュコンクリートの適用状況

- ・四国電力が FA サイロを設置してくれる。
- ・MP も管理材齢は 28 日

③ 建築でのフライアッシュコンクリートの使用状況

- ・地中梁ばかりで適用が多い (置換率 20%, 管理材齢は 28 日)

④ その他

- ・SDGs の観点から FA のニーズが高くなっている。

⇒温度ひび割れ抑制からは、フライアッシュコンクリートの管理材齢の見直しも必要。  
国交省の通達などがあれば、県などにおいて変更が進むと思われる。

(2) ブリーディング抑制

- ・エコパワーの使用でブリーディング抑制に効果があった事例がある。
- ・エコパワーの攪拌費用：300 円/m<sup>3</sup> (セルロースは 1,000 円/m<sup>3</sup>)：大阪広域での公表値

5. 次回協議会

- ・次回 C 協議会は、9 月頃を予定

以上